

Municipal News

市政
ニュース

西諸で協力して災害に備える

水道の応援協定を締結しました

安心安全なまちづくりを目指し、9月29日に、小林市、えびの市、高原町の2市1町で「西諸地域水道事業者災害時相互応援に関する協定」を締結しました。この協定で、災害発生時における西諸市町間の給水や職員の派遣、復旧作業などを互いに協力し合うことが合意されました。今後、応援給水や復旧のための資機材を整備します。



東京と小林をWEBでつなぎ会議

より効果的な観光プランを提案

10月15日、市は日本版DMOの設立に向け、コミュニティスペースと東京の三越日本橋本店をWEBでつなぎ、観光振興の施策についての会議を行いました。市と東京で働くメディア編集者、広告プランナー、フードコーディネーターなど、多様な業種の人たち約20人が参加。都市圏から見る小林の魅力などをまとめ、農家民泊の活用、新たなイベントの企画など、より効果的な観光プランの提案を受けました。今回の提案は、今後の観光振興などに活用されます。



小林市が進める政策や事業を紹介します

世界的企業などと連携

市の優れた食財をPR

市では、市の食材の販路拡大・PRなどを目的に、全国の企業などと連携して食材の売り込みを積極的に行っています。9月29日、世界的なネットワークを持つ料理の教育機関「ル・コルドン・ブルー東京校」であった、都内在住のフランス人シェフなどからなる「アマカルの会」主催の試食会に参加。食材の試食提供と説明を行い、好評を得ました。また10月からは、国内外にレストランなどを展開する「株式会社ひらまつ」とふるさと納税事業で連携。12店舗で食材を使った料理を提供し、期間限定でふるさと納税のお礼の品も用意。市では今後も、企業などと連携し、市の魅力アピールに努めていきます。



小林でマラソン大会を開催します

小林高校の生徒らも運営委員に

市では、マラソンを通じた市民の健康意識の向上や地域活性化を目的に、来年3月5日に「こばやし霧島連山絶景マラソン大会」を開催します。10月17日、開催に向けて実行委員会を発足。地域住民や小林高校の生徒など40人が運営委員を務めます。実行委員会の熊ノ迫文夫会長は、「訪問者に市の食べ物、自然を楽しんでもらい、喜んで帰ってもらえるような大会にしたい」と話しました。



小林の
わけもん
Vol.7

YOU CAN MAKE IT !!
KOBAYASHI YOUNG

小林にゆかりのある「がんばる若者」を紹介!

木下大サーカス団員
小林秀峰高校新体操部卒
わさだ じんりゅう
早田 神龍 さん



新体操で培った技で地元へ恩返し 宮崎での初舞台に意欲を燃やす

8年ぶりに宮崎公演を行う木下大サーカス。今年入団した早田神龍さん(19歳)は、西町出身で小林秀峰高校新体操部の卒業生です。中学の部活動紹介で観た新体操のきっかけに魅了され入部。中学、高校と新体操に没頭しました。卒業後は、体力や技を生かした仕事をしたいと子どものころに観たサーカスへ就職を決意し実現しました。現在はグッズ販売や接客を担当。終業後のわずかな時間を使って、トランプリオンを使った演技などの曲芸の練習に励んでいます。「たくさん芸を覚え、その技を磨き、演技を通して地元へ恩返ししたい」。今回の公演中に予定されている初舞台に向けて、意欲を燃やしています。



サーカスへの入口「虎の門」。撮影時、雨の中でも笑顔で対応してくれる早田さん。新体操部で学んだ礼儀正しさも健在です。

11/23

こばやし秋まつり 2016

日時/11月23日(水・祝)
時間/10時45分
～16時30分(小雨決行、荒天中止)
場所/国道221号線、中心市街地

市内の各団体などによるダンス、みこし、太鼓、総おどりなどの披露。農畜産まつりも同時開催し、日本一の宮崎牛入り肉うどんや市内で生産された農畜産物も販売します。

秋まつり総おどりに向けた講習会も開催

●日時=11月13日(日)、18日(金)19時～
●会場=中央公民館大集会室 ●問=まつり小林実行委員会(Tel 24-1920)



左上)各チームが披露する様々なジャンルの踊り 右上)参加チームが一緒に踊る小林音頭 左下)農畜産まつりのこすもす大鍋 右下)商工会青年部を中心とした山車(昨年の秋まつり2015から)

Pickup Event